



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

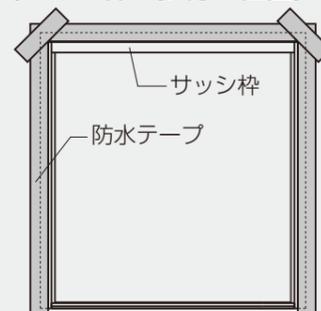
- 取付け前に必ず本説明書をお読みください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

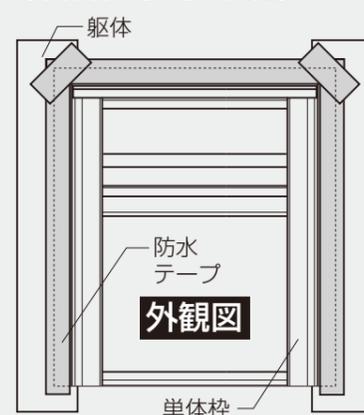
▲注意

- シャッター本体の脱落や変形による作動不良・漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認してください。
 - ・必ず指定のねじを指定の本数使用して固定してください。
 - ・外枠は強度を保つため、必ず土間に埋込んでください。
- 漏水の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品を取付ける前に、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)が張ってあることを確認してください。
 - ・本製品取付け後、単体枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部および単体枠の角部が完全にかくれるように防水テープ(別売り)を張ってください。
 - ・外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
 - ・外枠と天板・化粧まぐさをねじ止めするねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
 - ・天板に外枠を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまい、漏水の原因になるおそれがあります。
 - ・背板の取付け時は、背板の四周(天板・外枠・化粧まぐさ)およびコーナー部に防水テープを張って、さらに圧着してください。
 - ・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス(点検口)、ガイドレールを埋込まないでください。

〔防水テープ張付け位置〕
〔サッシ枠の張付け位置〕



〔単体枠の張付け位置〕



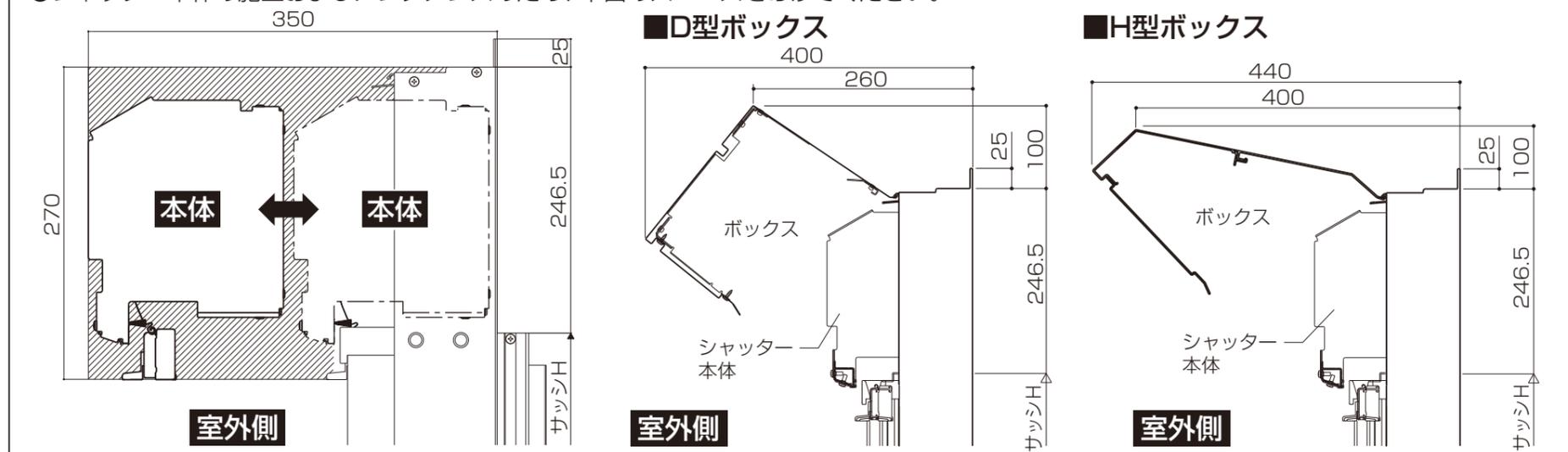
■取付け上のおお願い

- 天板・化粧まぐさは水平に取付け、シャッター本体取付け部の開口寸法がどこを測定しても等しくなるようにしてください。
寸法が正確に出ていないとシャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。(a図参照)
- 枠の水平・垂直を正確に出してください。
シャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
- モルタルはくり剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。
- 土間面はガイドレール取付け後に仕上げてください。ガイドレールが取付けられなくなります。
- シャッター部分の取付けについては、シャッター本体同梱の取付け説明書をご覧ください。

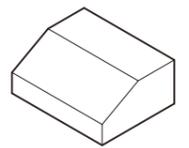
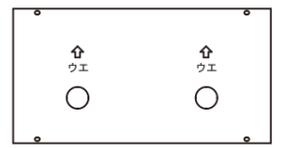
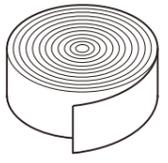
■a図



- シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。

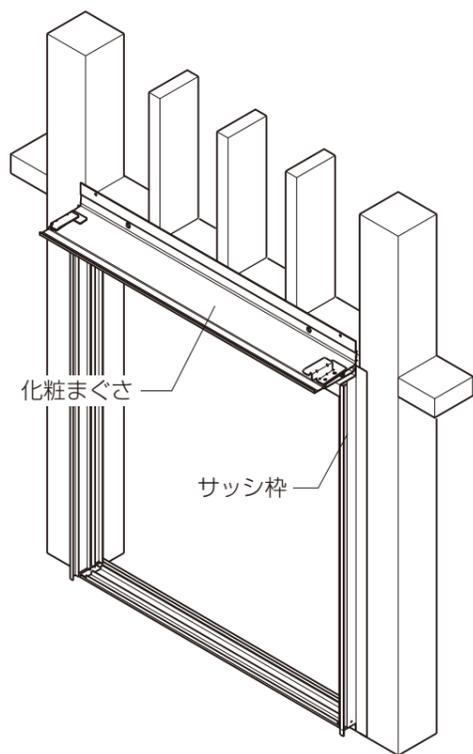


■使用部品・ねじ一覧表

㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫
 皿タッピンねじ φ4×35	 バインドタッピンねじ φ4×30	 まぐさ位置決めブロック	 背板	 皿小ねじM4×5	 防水テープ

■取付け順序

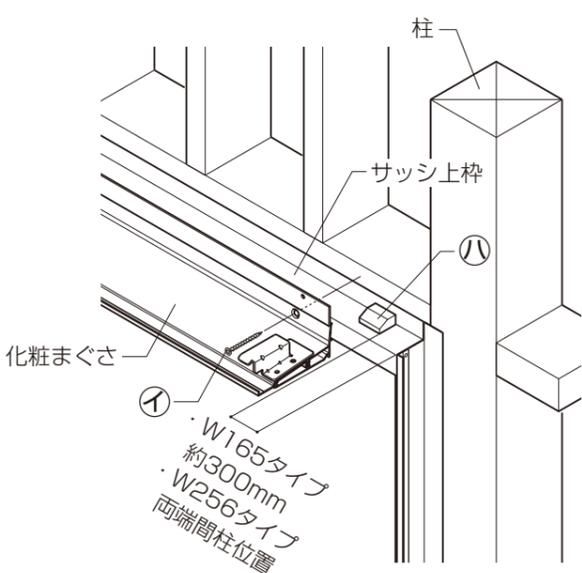
■化粧まぐさの取付け



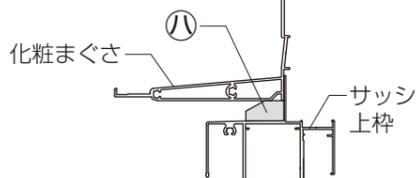
■取付け詳細

1 化粧まぐさの取付け

- ①サッシ上枠の両側(W165タイプは約300mm、W256タイプは両端間柱位置)に、㊦まぐさ位置決めブロックを張付けます。(右図参照)
- ②化粧まぐさをのせます。
- ③サッシ枠からの左右の出寸法を均等にし、化粧まぐさの水平を確認して躯体に㊦皿タッピンねじで固定します。



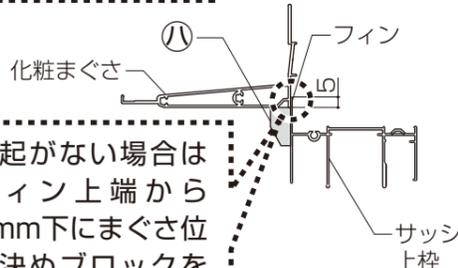
●半外付タイプ
(回し縁、化粧額縁付含)



●内付タイプ

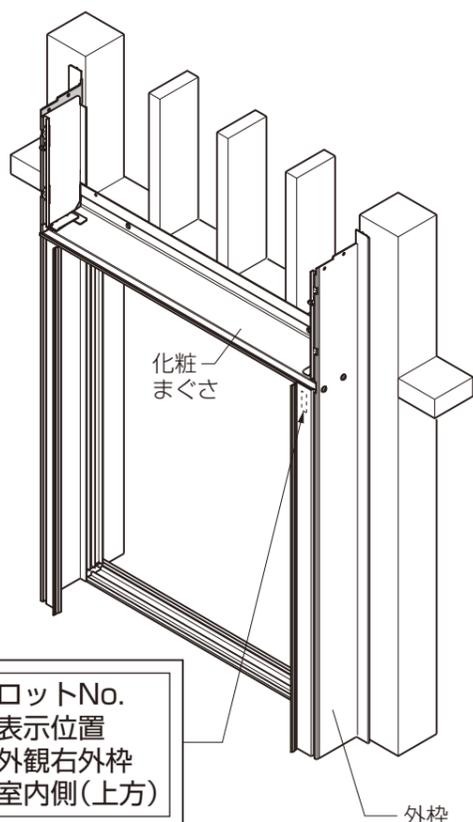


突起がある場合はまぐさ位置決めブロックを突起の上ののせます。



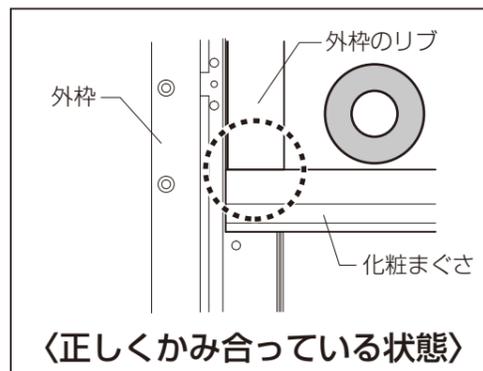
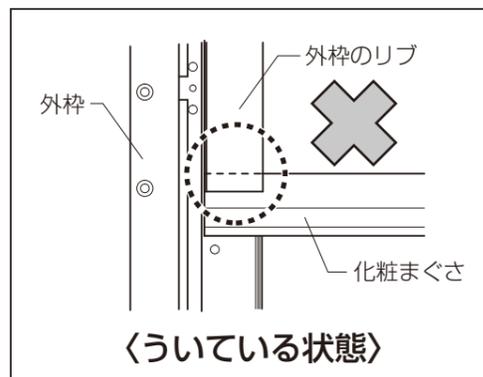
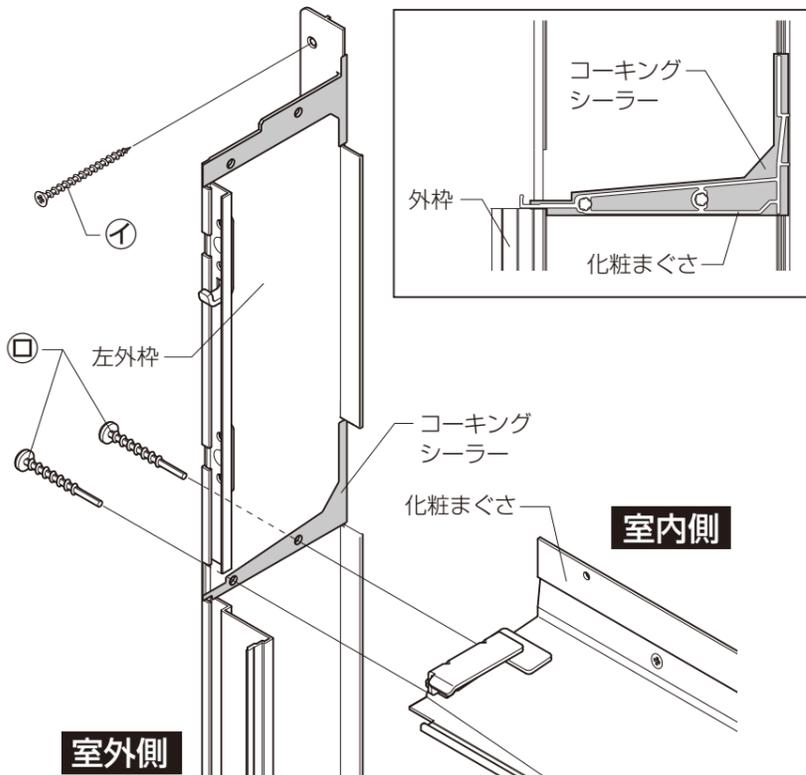
突起がない場合はフィン上端から5mm下にまぐさ位置決めブロックを張付けます。

■外枠の取付け



■外枠の取付け

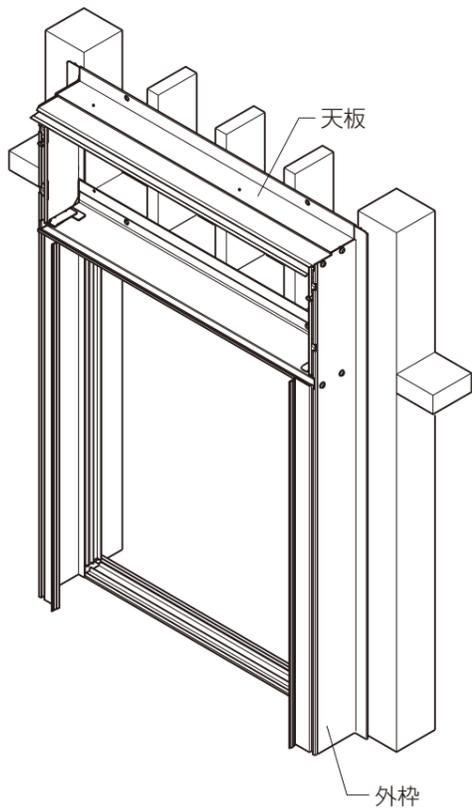
- ①どちらか一方の外枠と化粧まぐさを㊧バインドタッピンねじで固定します。
※躯体側がうかないよう、外枠のリブと化粧まぐさをかみ合わせてください。
- ②外枠の垂直を出し、躯体と直角になるように㊦皿タッピンねじで固定します。
- ③もう一方の外枠は、仮止めしておきます。



▲注意

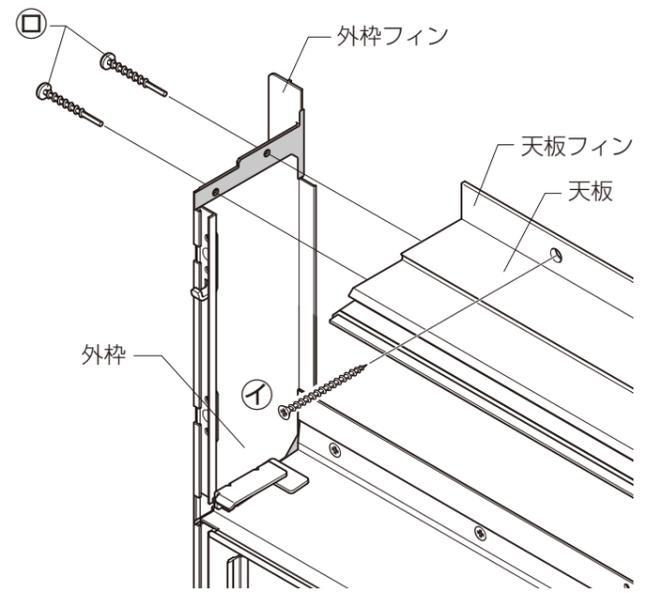
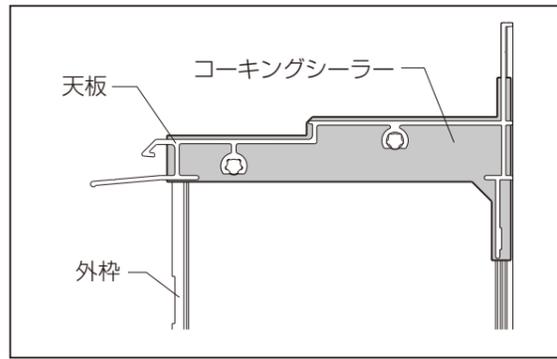
- 外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。
- ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。

3 天板の取付け



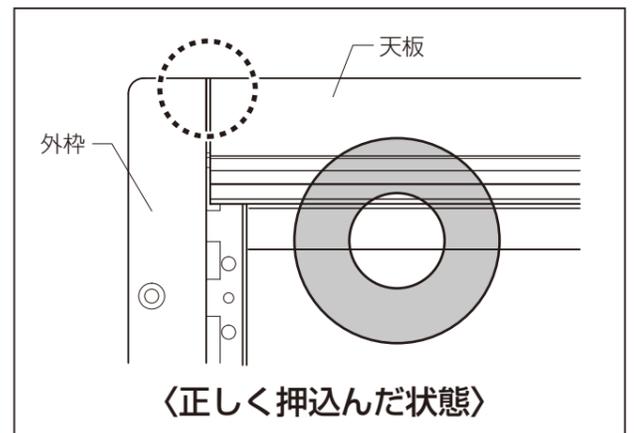
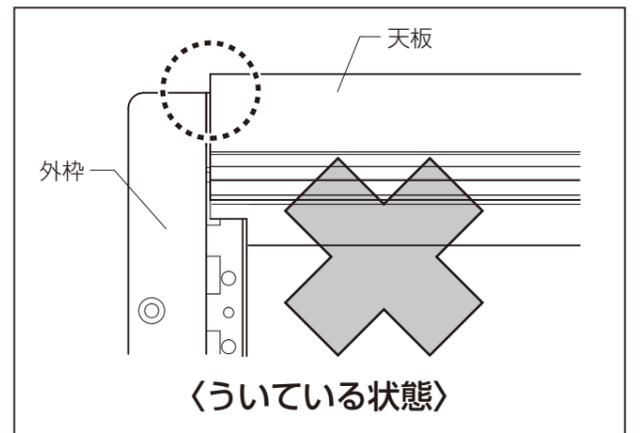
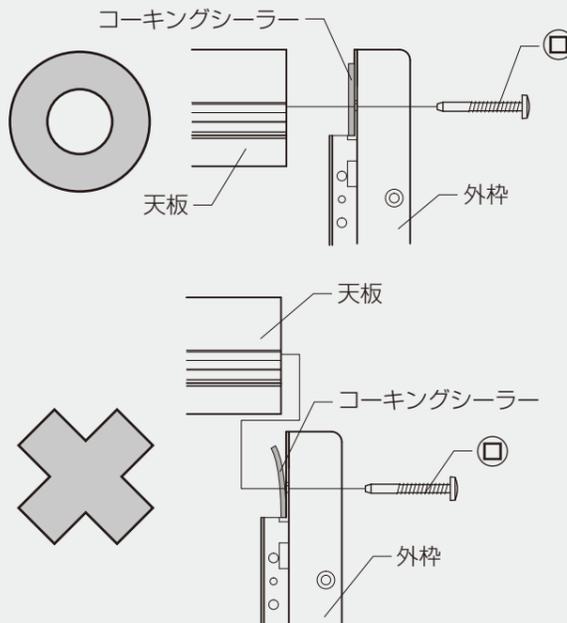
3 天板の取付け

- ①左右の外枠と天板を㊸バインドタッピンねじで固定します。
※躯体側がうかないよう、外枠と天板のフィンの高さを合わせてください。
- ②天板を㊹皿タッピンねじで躯体に固定します。



▲ 注意

- 天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差し込むとコーキングシーラーがめくれてしまい漏水の原因になるおそれがあります。



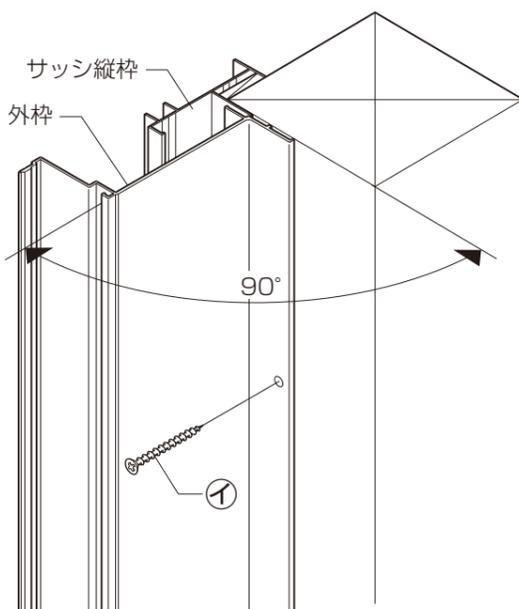
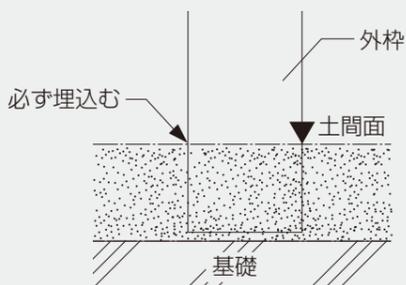
4 外枠・化粧まぐさ・天板の固定

4 外枠・化粧まぐさ・天板の固定

- ①固定していない外枠、化粧まぐさ、天板をねじ止めします。
- ②外枠・化粧まぐさの垂直を出し、躯体と直角になるようにねじ止めします。
※上・中・下部の開口寸法の誤差が±5mm以内であることを確認して調整してください。シャッター作動不良の原因になります。
※外枠と化粧まぐさはすき間なく固定してください。シャッター本体が取付けられなくなります。

▲ 注意

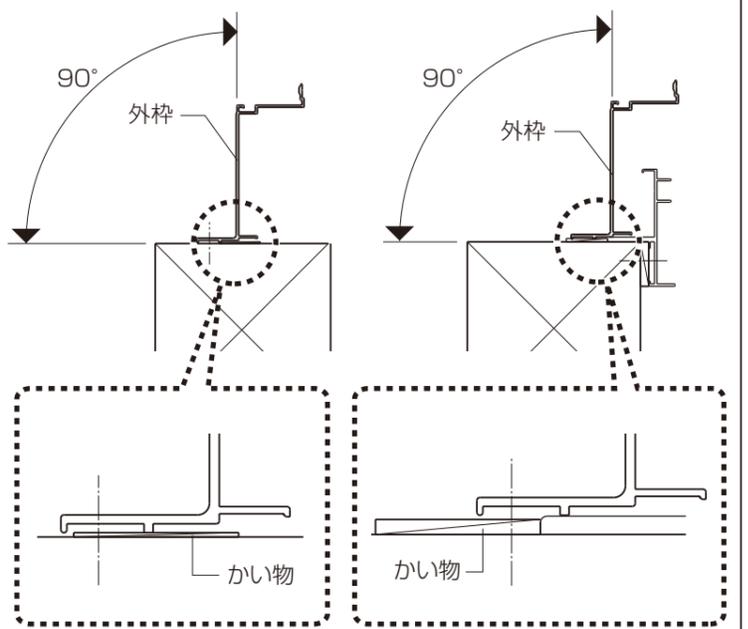
- 外枠は強度を保つため、必ず土間に埋込んでください。シャッター本体の脱落や変形による作動不良・漏水の原因になるおそれがあります。



※枠の固定は下げ振りなどで垂直を確認し、躯体と直角になるようかい物などで調整してください。シャッター作動不良の原因になります。

〈直付けの場合〉

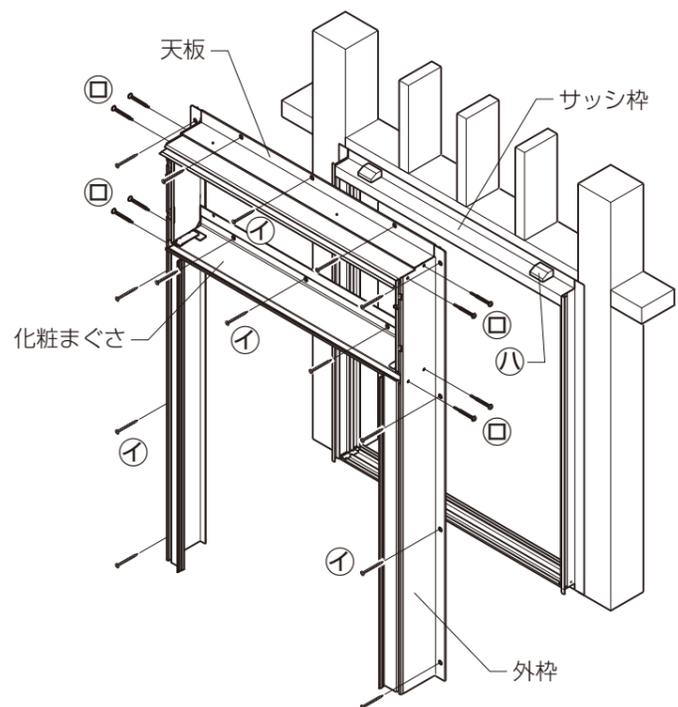
〈サッシのフィンが厚い場合〉



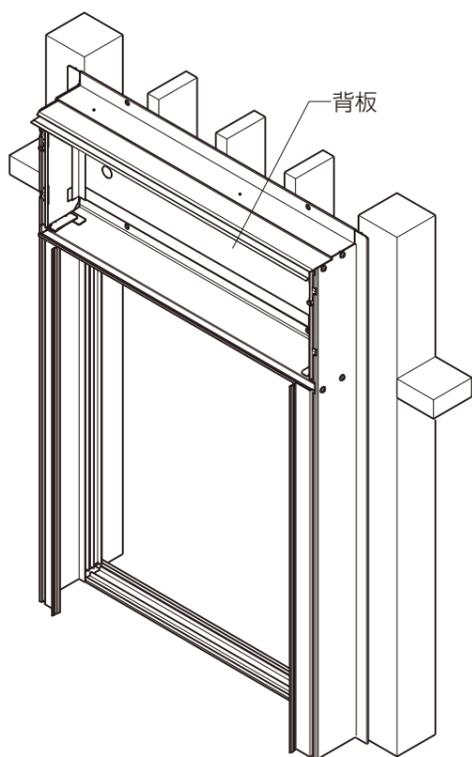
【入隅の場合】

● 枠の取付け

- ① 外枠と化粧まぐさ、天板を㊸バインドタッピンねじでねじ止めします。
 - ② 枠を㊹位置決めブロックの上のせ、サッシ枠からの左右の出寸法を均等にし、化粧まぐさの水平を確認して躯体に固定します。
 - ③ 外枠の垂直を出し、躯体と直角になるように㊺皿タッピンねじでねじ止めします。
 - ④ 固定していない外枠、化粧まぐさ、天板を㊻皿タッピンねじでねじ止めします。
 - ⑤ 外枠、化粧まぐさの垂直を出し、躯体と直角になるように㊼皿タッピンねじでねじ止めします。
- ※上・中・下部の開口寸法の誤差が±5mm以内であることを確認して調整してください。シャッター動作不良の原因になります。

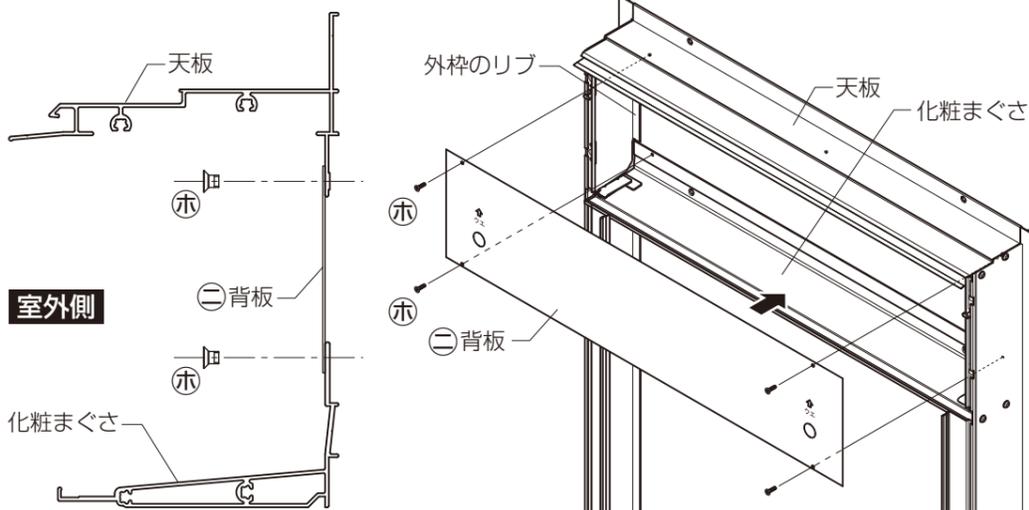


5 背板の取付け

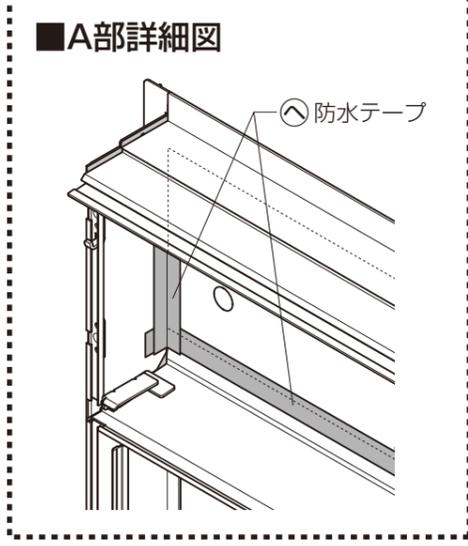
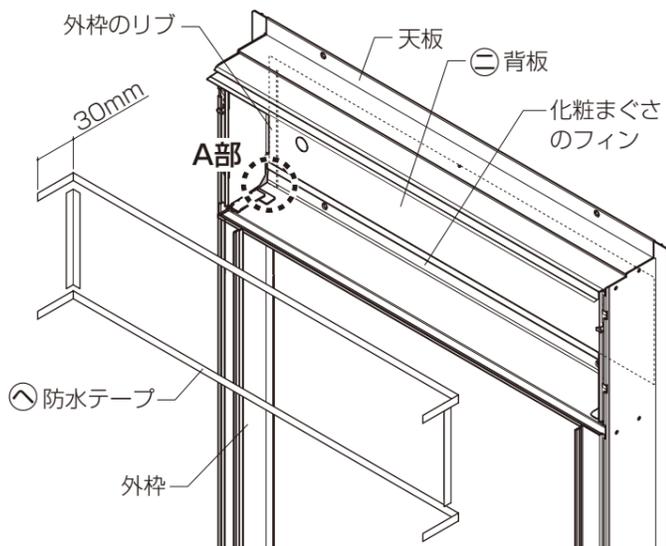


5 背板の取付け

- ① ㊽背板の「ウエ」の表示が室外側にくるように↑の向きを上にして、天板・化粧まぐさの下穴に背板の穴を合わせて㊾皿小ねじで取付けてください。



- ② 化粧まぐさのフィン、外枠のリブ、天板のフィンに㊿防水テープを張付けてください。※化粧まぐさ・天板に張る㊿防水テープは、両端が外枠のリブをかぶせるようにコーナー部で30mm折曲げて張付けてください。

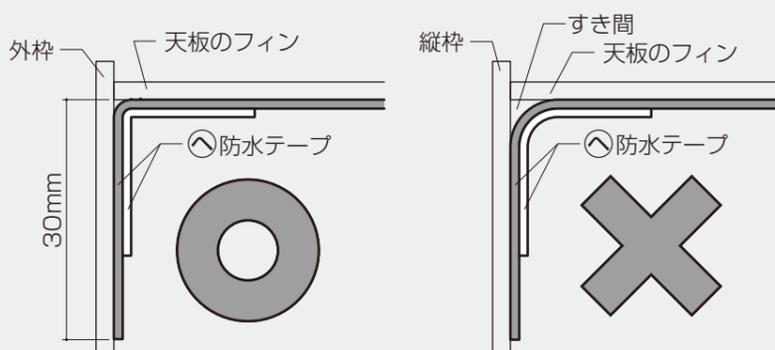


- ③ ㊿防水テープを圧着します。

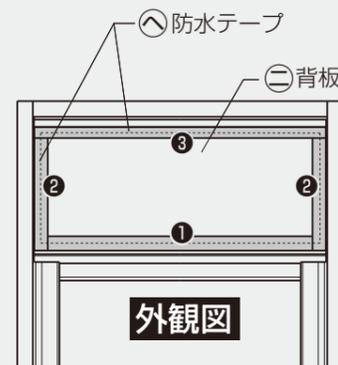
▲ 注意

● 防水テープは、下記順序で背板の4周およびコーナー部に必ず圧着してください。

- ① 化粧まぐさ → ② 外枠に折曲げて → ③ 天板
- 漏水の原因になるおそれがあります。



※コーナー部を圧着してください。



- ④ 張付け後、㊿背板、㊿防水テープに浮きがないか確認してください。

▲ 注意

● 本製品取付け後、単体枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部および単体枠の角部が完全にかくれるように防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

